

経済・金融フラッシュ

No.08-034 2008/06/03

07年度一般会計税収実績:08年4月

~07年度も暗雲漂う補正後予算の達成

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 シニアエコノミスト 篠原 哲

TEL:03-3512-1838 E-mail:shino@nli-research.co.jp

1. 4月末累計の一般会計税収は前年同期比 5.9%の増加

6月2日、財務省より2008年4月末の一般会計の税収実績(2007年度分¹)が公表された。4月単月の一般会計の税収は、前年同月比5.2増の4兆8626億円となった。所得税は配当課税の増加や、定率減税の廃止もあり前年同月比10.4%の大幅な増収となったが、法人税(同▲6.5%)と消費税(同▲0.4%)は前年よりも減少した。

4月末時点の07年度累計税収は42兆9664億円と、前年同期比5.9%の増収となった。項目別では、所得税は定率減税廃止の影響もあり前年同期比14.5%の増収となり、07年度補正後予算もほぼ達成した。法人税も同3.8%の増収となっているが、消費税は同▲2.7%と前年同期よりも減少している。

2007年度補正予算では、一般会計の税収は52兆5510億円と、前年度決算から7.1%の増加を見込んでいるが、4月末時点の累計税収の伸び(前年同期比5.9%増)は、このペースを下回っている。企業収益の悪化により、法人税が伸び悩んでいることが大きな要因となっている。

2008年4月末租税および印紙収入、収入額調

(10億円)

	2007年度 補正後予算額	4月単月 (2007年度分)		4月末累計 (2007年度分)		
			前年比	前年同期比	進捗割合	
所得税	16,098	2,576	10.4%	15,986	14.5%	99.3%
法人税	15,963	521	-6.5%	8,995	3.8%	56.4%
消費税	10,572	1,191	-0.4%	8,519	-2.7%	80.6%
一般会計分	52,551	4,863	5.2%	42,966	5.9%	81.8%

(資料)財務省

2. 4月末累計税収の進捗割合は81.8%に留まる

2007年度補正予算の税収52.6兆円に対する、4月末時点の累計税収の進捗割合は81.8%となり、2006年度補正予算に対する、2007年4月末時点の進捗割合80.4%を上回った。しかし、06年度の補正予算に対する進捗割合が、最終的には97.2%に留まった事をも考慮

¹ 2007年度分の税収は07年4月から08年5月納税分まで。

すると、今年度も補正予算の達成は厳しい状況にあると考えられる。

過去3年間における4月末の補正予算に対する進捗割合の比較

(一般会計全体) (%:100%=補正後予算額)

年度	4月末時点	5月末時点(決算)	5月末との差
2004	87.2	103.5	16.3
2005	87.2	104.3	17.1
2006	80.4	97.2	16.8
2007	81.8		

(所得税のみ) (%:100%=補正後予算額)

年度	4月末時点	5月末時点(決算)	5月末との差
2004	103.5	104.1	0.6
2005	105.6	106.1	0.5
2006	95.9	99.5	0.6
2007	99.3		

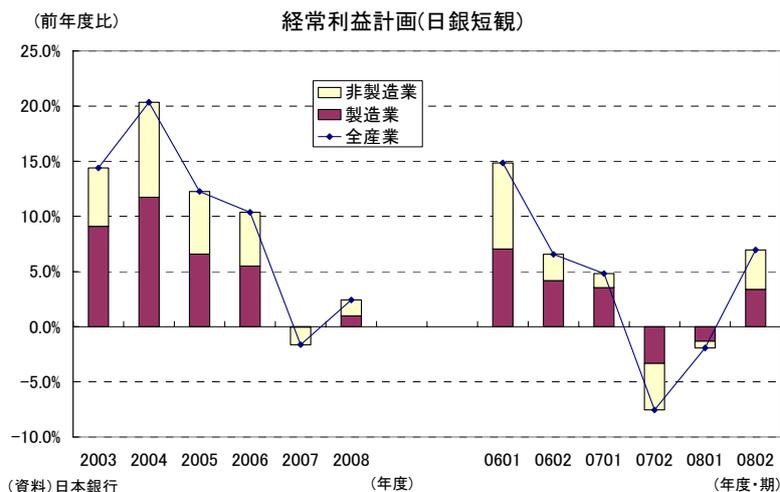
(法人税のみ) (%:100%=補正後予算額)

年度	4月末時点	5月末時点(決算)	5月末との差
2004	59.0	104.1	45.1
2005	59.9	106.4	46.5
2006	54.8	94.4	39.6
2007	56.4		

(資料)財務省

円高の進展や資源価格の高騰、米国経済の減速により、足元の景気は停滞色が強まっている。3月短観では経常利益(全規模・全産業)の2007年度実績見込みが、前年度比▲1.6%の減益となり、企業収益も悪化の傾向が鮮明になっている。5月には3月決算企業の法人税の納税が行われるが、大幅な法人税収の増収を期待することはできないだろう。

2006年度の税収は、07年5月単月で補正予算に対して16.8%進捗したが、仮に今年度も同ペースとすると、今年度決算は約51.8兆円と、補正後予算(52.5兆円)を約0.8兆円下回ることになる。2007年度補正予算において、税収見込みは当初予算の53.5兆円から、約0.9兆円の減額修正がすでに実施されたが、決算の段階において、税収が補正後の見通しを更に下回る可能性が高まってきたと考えられる。



(お願い)本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものでもありません。

(Copyright ニッセイ基礎研究所 禁転載)